

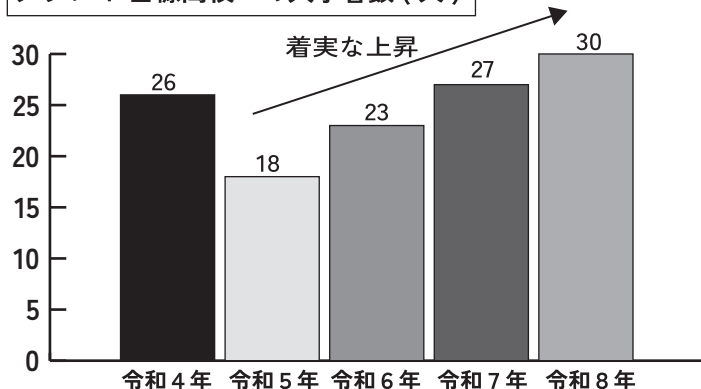
白糠高校 魅力化 プロジェクト

vol.11

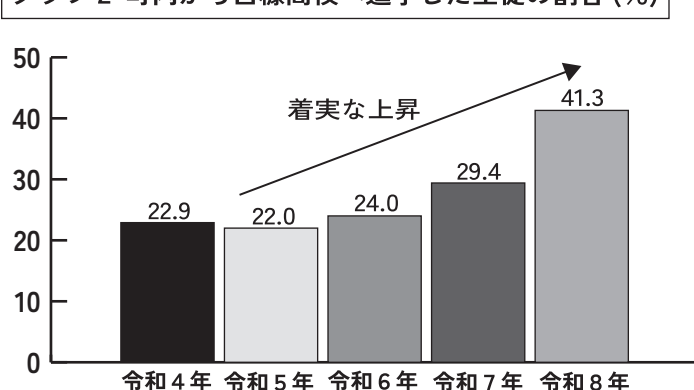
着実な成果の中で

白糠高校と白糠町が手を携えて進めている「白糠高校魅力化プロジェクト」が、着実な成果を上げています。

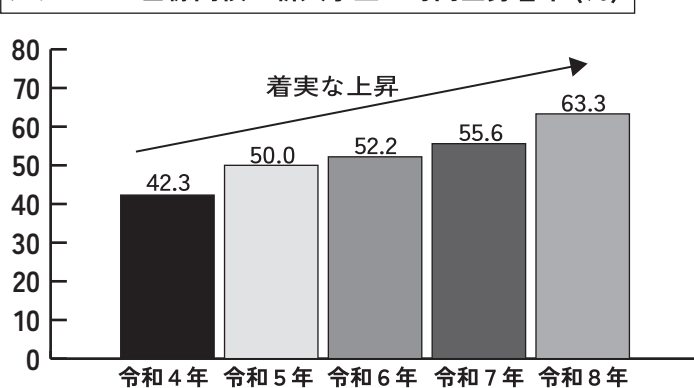
グラフ 1 白糠高校への入学者数（人）



グラフ 2 町内から白糠高校へ進学した生徒の割合（%）



グラフ 3 白糠高校の新入学生の町内出身者率（%）



グラフ 1 は、直近 5 年間の白糠高校の「入学者数」です。令和 5 年度に北海道教育委員会による高校統廃合基準である「20 人（2 年連続）」を下回る「18 人」となりましたが、以降の 3 年間は上昇に転じています。

厳しい現実を見据えて

しかし、今後十年間を見据えた時、厳しい現実を覚悟しなければならぬ状況にもあります。

少子化の波は更に激しさを増し、これまで年間 40 ～ 70 人を保っていた町内の小中・義務教育学校の卒業生徒数が、これからは 20 ～ 40 人台へと

激減する年が、しばらく続くことが予想されているからです。

次の一手を打つ

高校統廃合基準を満たす入学者数確保のため、次の一手を早急に打たなければなりません。

そこで現在、大学進学にも就職にも強いカリキュラムの改善、小中・義務教育学校の教職員向け学校説明会の実施、町内在住の 1 年生を対象とした「海外留学派遣制度」の新設、大学等進学に向けた奨学金制度の拡充、地域と連携したバドミントンの振興など、白糠高校の更なる魅力化に向けた取り組みを一層加速させています。

未来をつなぐ白糠高校

白糠高校は、学ぶ意志を強く持つ生徒にとって、自らの未来を自らの手で拓くことができる絶好の学び舎となっています。

「自立実践」の校訓の下、多くの皆さまからの手厚いサポートの中で、地域の未来をつなぐ生徒の育成にまい進しています。

（地域教育コーディネーター 庄子）